

	男子	女子	合計
1学年	39	61	100
2学年	73	47	121
3学年	61	48	109



校訓「自主」「練磨」「創造」

【篠栗北中HP (Facebook)】を公開中!!

<感謝と共生のある学校に向けて>

北中重点目標 『心の挨拶』

○2月16(木)・17(金)

3学期 期末考査を実施

2月16(木)・17(金)
3学期 期末考査を実施しました。



1・2年生には何度も言うようですが、必ず「振り返り」をし、来年度に備えることが大切です。

これを「リスキング(学び直し)」と言います。テストだけでなく、この一年間で学んだこともリスキングすることを忘れずに。

○2月17(金)

3年生が卒業式に向けて動き出しました。

2月17日(金) 3学期 期末考査を終えた3年生が卒業式に向けて、団結式を行いました。



入学式ができなかったことを力に変えて、卒業式を昨年以上のものに創りあげてください。

精一杯の校歌を期待しています。

○2月20(月)

R5年度に向けて職員研修を実施

2月20日(月) R5年度に向けて職員研修を実施しました。福岡教育事務所 指導主事 井上 正成 先生には、「子どもたちが学力を獲得していくためにすべきこと」について、ご示唆いただきました。



来年度の教育活動を期待してください。

○2月24(金) R5年度全国学力調査
(英語「話すこと」調査の事前検証を実施)

2年生は、R5年度全国学力調査(英語「話すこと」調査の事前検証を行いました。

R5年度の学力調査は「国・数・英」になり、英語でタブレットを使ったリスニングがあります。



事前に体験できたことに感謝しましょう。

○2月24(金)

ウクライナ侵攻開始から1年経過!!

2月24日(金) ロシアのウクライナ侵攻から1年を迎えました。

世界各地では、市民が「戦争やめろ」や「平和を」などの抗議があいつぎました。



本校でも「平和」の願いを込め、正面花壇を国旗に見立て、子どもたちが「パンジー」を植えました。卒業式入学式も無事にできる願いも入っています。



これからも世界の一人として、自ら「何ができるかを」を考え、行動する子どもたちに期待しています。



3月行事 (予定)

3日(金)	あおば学級卒級式	
6日(月)	公立一般入試事前指導	
7日(火)	公立一般入試 生徒総会	
8日(水)	公立一般入試(個性重視の特別試験) 区職員研修のため午前中授業	(給食無)
9日(木)	卒業式準備 3年生修了式	(給食無)
10日(金)	第37回 卒業証書授与式	
14日(火)	いじめアンケート	
15日(水)	挨拶の日 公立入試合格発表	
16日(木)	給食最終日	
17日(金)	1・2年生「職業人に学ぶ」会(夢授業)	要弁当
20日(月)	おにぎり弁当の日	
22日(水)		要弁当
23日(木)	大掃除・ワックスがけ	要弁当
24日(金)	修了式	
※定休日	13・20・27日	
※部休日	8・9・13・20・27日	
(土・日 1回休)	※部活動完全下校 18:00	

※裏面に続きます。

△標語▽(三年生)

「当たり前」 その一言が 差別生む 十人十色 みんないい

「関係ない」 そんな考え 捨てようよ 平和な世界 僕たちの手で

手を伸ばし 助けを願う 人がいる あなたのその手

肌の色 話す言葉が 違っても 私たちは 同じ人間

その言葉 送っていいの？ 考えて

多様な社会 みんな違って 当たり前

咲かせよう 一人一人の 個性の花

認めよう 相手の価値観 自分の個性

怖いのは 相手に対する 無関心

知らんぷり 自分だったら どう思う？

△作文▽(一年生)

続く戦争

今、この時代になっても戦争があっている。

ニュースで流れてくるのはウクライナの街がめちゃくちゃにされ、大切な家族、友人などを亡くし、号泣する人々だ。

ロシアがウクライナに攻め込み、戦争が始まった。ウクライナ市民の犠牲は増え続けており、国際社会からはロシアへの厳しい非難の声が上がっている。ロシアはなぜ、「兄弟国」とも言われた隣国に侵攻したのだろうか。

その理由は、ロシアが世界のルールをやぶってウクライナに攻め込み、力づくで国の一部を奪おうとしているということだ。それにウクライナが抵抗して、国を守ろうと戦っている。

ウクライナの被害者、犠牲者の数は約二万三〇〇〇人だ。

なぜ戦争は起こるのだろうか。戦争や紛争が起こる理由を調べた。

一つ目は「民族」の争いだ。民族の異なる人たちが、その考えの違いから争いを起こすことがある。

二つ目は「宗教の争い」だ。信じる宗教の異なる人たちが、その考え方の違いから争いを起こすことがある。

三つ目は「資源」の争いだ。金や石油などの鉱物資源が出る国ではそれをめぐる争いが起こることがある。特に武力で人を支配しようとする「武装グループ」が争いを起こすことが多く、グループ同士で戦ったり、一般市民に暴行したりして鉱物を独占し、お金を得ようとする。

四つ目は「政治」の争いだ。例えば、ひとりや少数人数が政治を独占する「独裁政権」が続いた時に、住民がそれに反対して「内戦」を起こすことがある。

五つ目は「領土」の戦いだ。ヨーロッパの国が支配していた「植民地」の時代にヨーロッパの人たちが勝手に国が分けられた。この時ひかれた国境線が実態と合わず、国民士が領土を主張する紛争が起こることがある。領土の問題は、私たち市民では解決できないことだ。

私はこれらのような理由があったとしても、絶対に戦争をしてはいけないと思う。罪のない人が犠牲になったり、また未来のある子どもたちの命までも簡単に奪ったりするのだから。

何か問題がある度に戦争しては、いつまでたってもなくならない。だから私は、自分の国のことだけでなく、他の国のことを思いやり、ゆずり合う気持ちをもつことで、世界中の人々の自由で幸せな生活を送る権利が守られる社会になっていけばいいと思う。

そのためには今、大切な家族や友達どうしのけんかという身近な原因をなくせるように、努力していきたい。

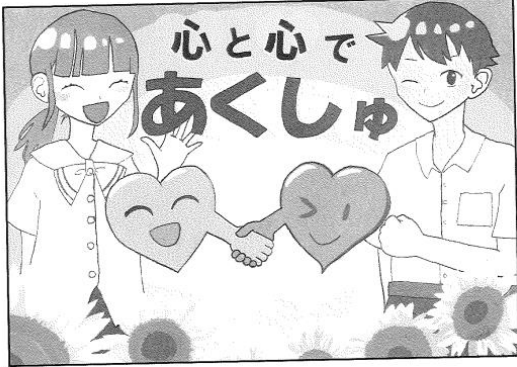
△ポスター▽(一年生)



「こどもの目」NO.36

毎年、篠栗町・篠栗町教育委員会から、人権啓発作品(標語・ポスター・作文)の応募があり、本校も多数応募しました。その中で、冊子「こどもの目」に掲載された作品の一部を紹介します。

冊子は図書館にも置いてありますので、一度見たり、読んだりしてみてください。



(表紙:本校 | 年生)